

2) 調査結果

(1) 文献その他の資料調査結果

「第3章 3.1.2水環境の状況」に記載している。

(2) 事業実施区域周辺における調査結果

① 土砂による水の濁り(赤土等の流出)

ア) 平常時

通路川(St. A-1、St. A-2)、轟川(St. B~H)の水質調査結果を季節毎に表-6.5.1.1(2)に示した。また、流量観測について、轟川の河川日流量変動を図-6.5.1.1(2)に示した。

各調査地点における浮遊物質(以下、「SS」と言う。)は、春季が1.2~6.0mg/L、夏季が1.1~57.3mg/L、秋季が1.2~3.6mg/L、冬季が1.4~11.4mg/Lの範囲であった。また、夏季のSt. Bのみ河川A類型の環境基準である25mg/L以下を上回る値を示したが、各地点の年平均値は1.7~16.4mg/Lの範囲となっており、各地点とも河川A類型の環境基準値25mg/L以下を満足する水質環境にあった。夏季のSt. B、St. Eでは調査当日、St. B上流に位置する水田地帯より濁った水の放流が確認され、その影響を受けSt. B及びその下流に位置するSt. Eにおいては、他の地点に比べ高い値を示したと推測された。